



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <https://www.hotta-marusho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 隆之

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 矢部 和秀

TEL 03-6824-9481

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	2,370	16.1	249		203		210	
2024年3月期第3四半期	2,823	3.6	135		95		60	

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 205百万円 (%) 2024年3月期第3四半期 38百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	3.74	
2024年3月期第3四半期	1.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	3,580	2,857	79.8	50.81
2024年3月期	3,803	3,062	80.5	54.46

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 2,857百万円 2024年3月期 3,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	19.1	68		70		59	203.7	1.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	59,640,348 株	2024年3月期	59,640,348 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	3,396,007 株	2024年3月期	3,395,907 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	56,244,426 株	2024年3月期3Q	56,244,398 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財務状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、欧米・中国経済の先行き不安、さらには物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動などにより、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループのコア事業であるファッション事業ならびにマテリアル事業に経営資源を集中し、成長分野への投資を継続的に推進し、成長のための基盤づくりを行ってまいりました。

ファッション事業においては、百貨店におけるシニアミセス向け婦人アパレルの強化と新規PB商品の開発・ポップアップストア出展を行い、マテリアル事業においては、サステナブル素材への切り替えや欧州展示会への出展に向けたプロジェクトの推進に取り組み、新たな価値創造を推進いたしました。

しかしながら、収益性を鑑みた取引先の取捨選択やマテリアル事業における中国内需の受注減などによる減収に加え、円安等による仕入コストの上昇や新たな価値創造に向けた投資もあり減益となりました。また、ライフスタイル事業のギフト部門を2023年6月30日に売却したことの影響もあり、全社において減収減益となりました。

厳しい事業環境を乗り越えるために9月より経営体制を新たにし、事業構造の見直しを行った結果、2024年12月19日に公表した「当社グループの構造改革の継続実施及び特別損失計上見込みに関するお知らせ」のとおり、構造改革を実施することといたしました。

この結果、売上高は23億70百万円（前年同期比16.1%減）、営業損失は2億49百万円（前年同期は営業損失1億35百万円）、経常損失は2億3百万円（前年同期は経常損失95百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億10百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失60百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(きもの事業)

百貨店部門は、外商取組と現場力の強化や単独売場化により増収となった一方で販売費の増加により減益、専門店部門は、新商品の販売等新たな取り組みが一定の成果を得ましたが、既存大手量販店への小物販売が落ち込み減収減益となりました。

この結果、売上高は4億84百万円（前年同期比12.7%減）、営業損失は60百万円（前年同期は営業損失26百万円）となりました。

(ライフスタイル事業)

既存のヘルスケア部門において、大口取引先からの受注が堅調に推移しましたが、新規プロダクト企画開発への投資を推進するとともにギフト部門の売却により減収減益となりました。

この結果、売上高は35百万円（前年同期比69.3%減）、営業損失は4百万円（前年同期は営業利益2百万円）となりました。

(ファッション事業)

D2C事業は、ブランドの取捨選択を行いショップチャンネルでの売上・営業利益が増加、卸事業におけるジュニア部門およびホームファッション部門は、円安による原価高が進行するとともに、残暑の影響で秋冬物の投入が進まず減収減益、ミセス部門は、PB品の受注ならびに催事販売が好調に推移し増収となるも、催事における人件費の増加ならびに百貨店向け新規PB商品の新規展開に伴う販売費の増加により増収減益となりました。イェリ（旧製品企画）部門は、新規ブランドは順調に伸長いたしましたが、専門店向け販売が落ち込み減収減益となりました。

この結果、売上高は11億52百万円（前年同期比0.6%減）、営業損失は11百万円（前年同期は営業利益21百万円）となりました。

(マテリアル事業)

国内事業は、中国及び韓国向けの輸出売上が大幅に減少し、国内アパレルメーカーおよび糸商からの受注減により減収減益、上海事業は、大口取引先含む内需の受注が低調となり減収減益となりました。海外売上獲得において中国内シェアの向上に引き続き取り組む一方、欧州地域の海外売上獲得に向けた商品及び企画開発に伴う投資を推進いたしました。

この結果、売上高は6億89百万円（前年同期比30.3%減）、営業損失は34百万円（前年同期は営業利益25百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は33億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億22百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1億37百万円増加しましたが、短期貸付金が4億円減少したことによるものであります。固定資産は2億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が6百万円増加しましたが、投資その他の資産が7百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は35億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億22百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が14百万円減少したことによるものであります。固定負債は28百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは主に資産除去債務が1百万円増加しましたが、その他の固定負債が4百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は7億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は28億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が5百万円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金2億10百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は79.8%（前連結会計年度末は80.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月19日に公表した「当社グループの構造改革の継続実施及び特別損失計上見込みに関するお知らせ」とおり、構造改革に伴い実施する事業撤退及び海外子会社における移転等に伴う特別損失約65百万円を2025年3月期中に計上する予定です。なお、この特別損失の金額は、今後の製品在庫の販売状況によって増減する可能性がありますので、計上金額が確定次第、改めてお知らせいたします。

2025年3月期の業績予想につきましては、その他の要因も含めて精査中のため、2024年5月15日公表の業績予想から変更しておりませんが、通期見通しを早期に公表できるように努めてまいります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失1億90百万円及び経常損失1億30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益19百万円を計上する結果となりました。当社グループの業績は、前連結会計年度まで6期連続で営業損失、経常損失を計上しております。そのため過去の業績も考慮し、継続企業の前提に関する注記を開示するまでに至りませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当期の利益計画において、連結営業利益の黒字化を見込んでいるとともに、保有現預金から資金計画上、継続企業の前提に関する不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	420,270	557,593
受取手形、売掛金及び契約資産	628,599	465,139
電子記録債権	100,868	160,648
商品及び製品	861,379	995,136
原材料及び貯蔵品	43,335	48,992
短期貸付金	1,500,000	1,100,000
その他	41,636	54,054
貸倒引当金	△10,198	△18,120
流動資産合計	3,585,891	3,363,445
固定資産		
有形固定資産	106,927	113,754
投資その他の資産		
その他	135,662	128,354
貸倒引当金	△24,771	△24,689
投資その他の資産合計	110,890	103,664
固定資産合計	217,818	217,419
資産合計	3,803,709	3,580,865
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	269,387	289,945
電子記録債務	280,864	266,750
未払法人税等	7,071	6,094
その他	152,231	132,008
流動負債合計	709,554	694,799
固定負債		
資産除去債務	8,460	9,884
その他	22,712	18,623
固定負債合計	31,172	28,508
負債合計	740,727	723,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,236,690	3,236,690
利益剰余金	47,800	△162,726
自己株式	△389,576	△389,580
株主資本合計	2,994,914	2,784,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,628	10,646
為替換算調整勘定	57,438	62,525
その他の包括利益累計額合計	68,067	73,172
純資産合計	3,062,982	2,857,556
負債純資産合計	3,803,709	3,580,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	2,823,872	2,370,112
売上原価	1,981,294	1,590,410
売上総利益	842,578	779,702
販売費及び一般管理費	977,776	1,029,580
営業損失(△)	△135,198	△249,877
営業外収益		
受取利息	41,054	47,413
受取配当金	1,437	1,547
為替差益	-	2,255
その他	2,346	1,367
営業外収益合計	44,839	52,584
営業外費用		
支払利息	356	262
為替差損	1,354	-
株主優待関連費用	3,250	5,494
その他	167	41
営業外費用合計	5,130	5,799
経常損失(△)	△95,489	△203,091
特別利益		
関係会社株式売却益	39,730	-
有形固定資産売却益	1,523	-
特別利益合計	41,254	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△54,235	△203,091
法人税、住民税及び事業税	6,089	7,434
法人税等合計	6,089	7,434
四半期純損失(△)	△60,325	△210,526
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,325	△210,526

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△60,325	△210,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,618	17
為替換算調整勘定	19,308	5,087
その他の包括利益合計	21,926	5,105
四半期包括利益	△38,398	△205,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△38,398	△205,421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	4,350千円	6,350千円

(注) のれんの償却額はあります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	555,567	114,328	1,158,547	990,029	2,818,472	5,400	2,823,872	-	2,823,872
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	555,567	114,328	1,158,547	990,029	2,818,472	5,400	2,823,872	-	2,823,872
セグメント利益(又はセグメント損失(△))	△26,105	2,345	21,583	25,734	23,557	4,786	28,344	△163,542	△135,198

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△163,542千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	484,985	35,103	1,152,132	689,714	2,361,936	8,176	2,370,112	-	2,370,112
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	484,985	35,103	1,152,132	689,714	2,361,936	8,176	2,370,112	-	2,370,112
セグメント利益(又はセグメント損失(△))	△60,626	△4,855	△11,036	△34,401	△110,920	6,744	△104,175	△145,702	△249,877

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△145,702千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。